

2対1,000



東郷 潤

想像してみてください。あなたは、強大な軍事力を持つ大国のリーダーです。



ある日、由々しき問題が生じました。



さあ、大国のリーダーとして、あなたには何ができるでしょう？

あなたはこの問題に関する選択肢を、
すぐに50個思いつきました。あなたは
はととても有能なのです。

A国の独裁者が自国民を弾圧し 殺害している問題への対応策

- 国連の枠組みの中での解決を模索する
- スナイパーを雇って、独裁者を射殺する
- 戦争遂行に賛成してくれる国を募り、多国
籍軍を作る
- A国の民主化運動のリーダーへ、武器を
無償で提供する
- A国の民主化運動のリーダーたちへ、
資金援助する
- ノーベル平和賞を利用し、国際世論によ
る包囲網を作る
- 戦争をしない代わりに、それぞれの家庭で
最少でも10人の難民を受け入れる。
- 独自に全輸出品目について禁輸措置を取る
- 石油の禁輸をする
- 経済封鎖に賛成しない国からの輸入を禁止する
- 隣国の友好国と軍事演習を
行なう
- 友好国へ核ミサイルを
配備する
- 独裁者を自国へ招待し、
公開討論会に引っ張り出す
- 自国へ招待し、独裁者の
食べ物へ毒を盛る
- 飛行機事故を装って、
独裁者を殺す
- 特殊部隊に強襲させて、
独裁者を生け捕りにし
裁判へかける
- 非難演説を行うだけで、
実力行使はしない
- A国の国内預金を凍結する
- 独裁者のスキャンダルをでっちあげ、
支援者を減らす
- 相手が呑めそうもない和平案を
提示し、先方に開戦させる
- 人間の盾を送り込む
- 戦争をしても人殺しを止める
- A国の独裁者と直接対話し、
人殺しをやめるように説得する
- A国に経済援助をし、A国の
治安を安定させる
- 友好国であるB国から圧力を
かけてもらう
- A国に食料援助をする見返りに、
政治犯弾圧をやめさせる
- 独裁者が欲しがるミサイル
技術を提供する見返りに、
人殺しをやめさせる
- 自国の遊休地を利用した1万人の
難民受け入れを表明する
- 難民受け入れ国へ、資金援助をする
- 難民の無制限の受け入れを行なう
- A国からの留学生を積極的
に受け入れ、教育する
- A国内向けにラジオ放送を
行い、独裁者の追放を
呼びかける
- A国内向けに空からビラをまき、
独裁者の悪業を宣伝する
- 独裁者の個人預金を凍結する
- スパイを送り込み、独裁者の
人殺しの理由を探る
- 独裁者が信仰する宗教団体の
意見を求める
- 神様にお祈りをする
- 何もしない
- 独裁者を呪う
- 国際司法裁判所の手にゆだねる
- ノーベル平和賞をA国の独裁者
のライバルへ
- A国の核兵器開発疑惑を
でっちあげる
- A国の検査寮を行い、
軍事機密を探り出す
- ひそかに生物兵器を使って
A国の食糧生産に打撃を与え、
弱体化を目指す
- インターネットを利用し、
民主化運動を扇動する
- A国に金融支援を行うと
装って、経済支配を試みる
- 独裁者の弟を扇動し、
独裁者を暗殺させて、
後釜に据える
- 独裁者のスキャンダル
でっちあげと、経済制裁を
組み合わせる
- 独裁者を自国へ招待し、
軍事力の差を見せ付ける
- 独裁者の宮殿へミサイルを
ぶち込んでみる

しかし、50個の選択肢のどれも平和裏にそして確実に問題を解決できそうにはありません。

もしかすると戦争をしなければいけないかも知れません。

さあ、ここであなたはリーダーとして決断します。以下2つの選択肢から1つを選んでください¹。

- 民主主義は何よりも大切だ。この問題に関しても多数決という民主的な方法で国民や議会の意思を確認し、それに従わなければいけない。→P.7 へ
- この問題の解決に努力はするが、国民や議会の意思を多数決で確認するつもりはない。→P.14 へ

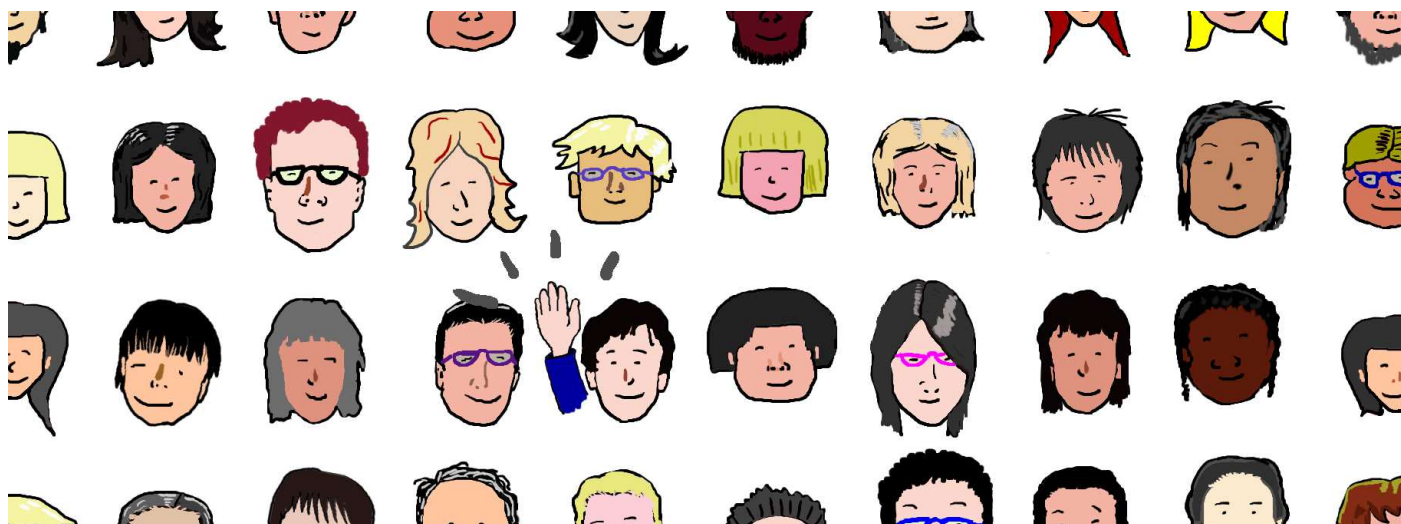
¹ 2つのストーリーを比較してください。

→P.6 より

もしかすると戦争をしなければいけないかも知れません。民主主義が何よりも大切だと思っているあなたは、多数決で国民の意思を問おう、と考えました。戦争をすれば大勢の人の命が犠牲になるかも知れません。これほど重要な問題に関しては、結論がどうであれ、主権者である国民の過半数の賛成が必要です。

さて過半数の賛成を得るために、選択肢は2つ以下にする必要があります。

選択肢が3つ以上では票が割れるため
過半数を取ることは難しいのです。



そこであなたは、50個の選択肢を2
つに減らすために知恵を絞りました。

そしてこの2つの選択肢のどちらを選ぶか、多数決で国民の意思を確認しました。

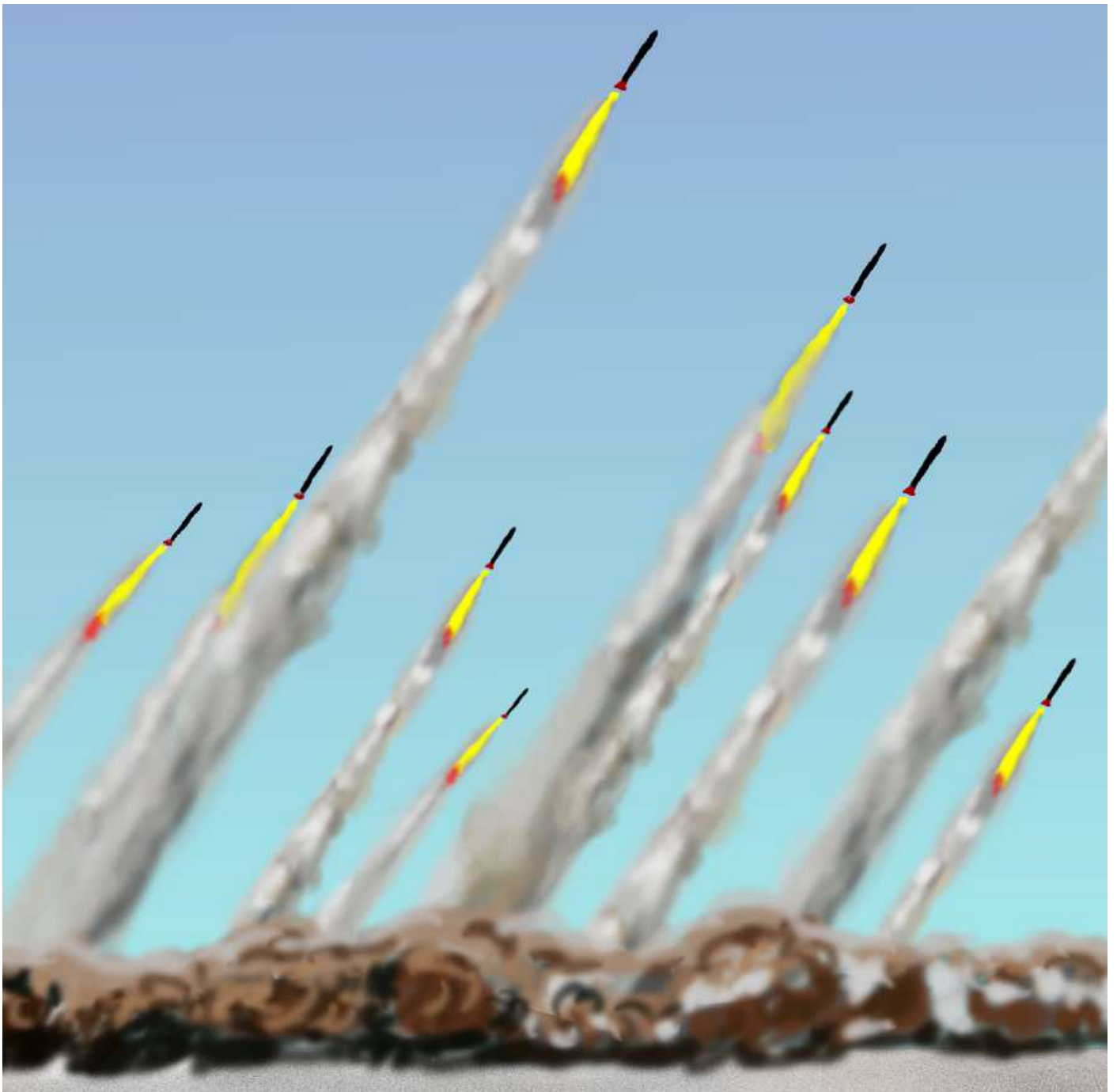


…投票の結果は、「戦争をしてでも、人殺しを止める」でした。

**独裁者を許すな！
民主主義、万歳！**

**私は正義を愛
する、わが国
民を誇り
に思う**

そしてあなたの国は戦争を始めました。
戦争を決めたのは国民ですから、国民
は戦争を支持し団結しています。あとは
勝利に向かって全力で戦うだけです。



これが出来たのは、選択肢を **2つに減らそう**と、あなたが知恵を絞ったおかげです。



→P.6 より

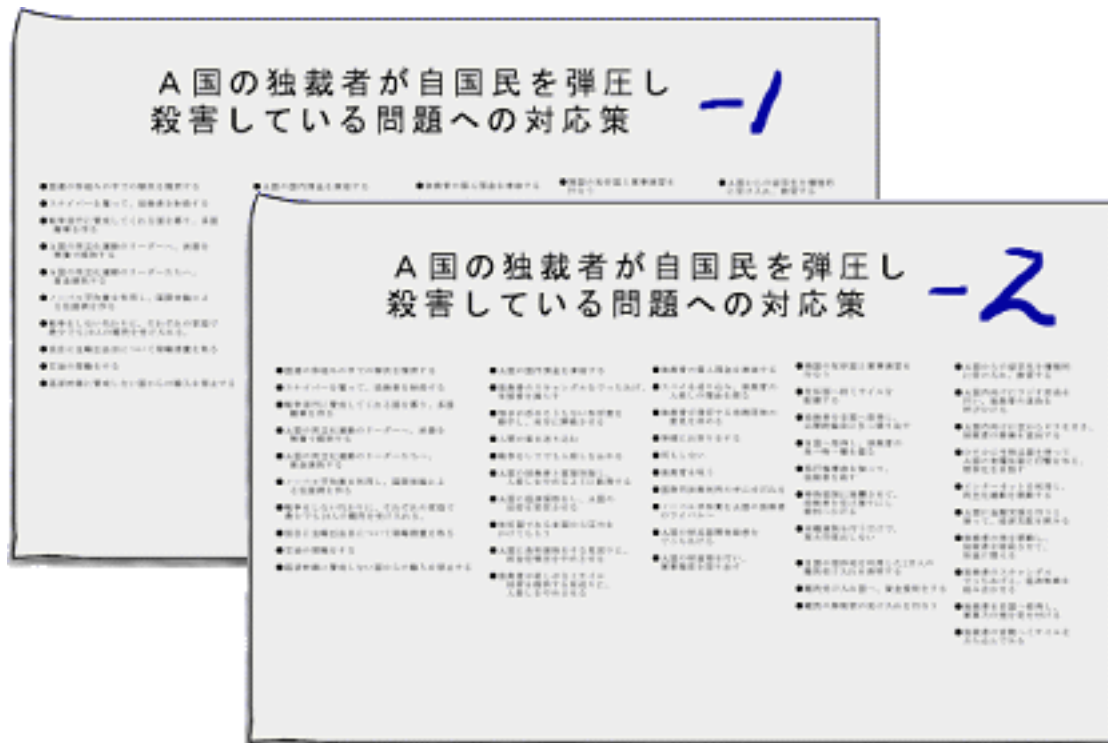
もしかすると戦争をしなければいけないかも知れません。

しかしあなたは戦争をしたくはありません。かといって、独裁者が人殺しを続けることを放置したくもありません。

そこで、あなたは、より平和に確実に問題を解決するため、さらに知恵を絞りました。



その結果、あなたは自国が取り得る選
択肢を100個思いつきました。



しかしながらまだ、どの選択肢も実際に平和裏に問題を解決できるかどうか、あなたは自信を持ってません。戦争をするのは簡単です。しかし平和に問題を解決するのは、はるかに難しいのです。

より多くの選択肢・アイデアを求めて、
あなたは多くの人々の意見を聞きました。
独裁者の心を理解する努力もしました。
その結果少しずつ弾圧の原因が
分かってきました。そこには複雑な歴
史的・社会的・宗教的な背景があったの
です。



そしてとうとう、あなたを取りうる選
択肢は1, 000個にも増えました。



さあ、これほど膨大なアイデア・選択肢
があれば、きっと平和裏に問題を解決
出来るでしょう。

・・・月日が流れました。問題を平和に解決するのは、難しい挑戦でした。理解・忍耐・努力、そしてさらに多くのアイデアまでもが求められました。けれどついに、あなたは戦争に頼ることなく問題の原因を解決することに成功しました。独裁者が人々を弾圧／殺害することは、もうありません。



これが出来たのは、選択肢が**1,000**
個に増えるほど、あなたが知恵を絞っ
たおかげです。



あとがき 絵本「2対1，000」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011